市民句会報

令和八年十月二十八日

オーテピア高知図書館（高知市民図書館）　〇印　山下正雄選　順不同

【今回の兼題】
①秋思（しゅうし）
②鵙（もず）



初江

鵙の贄解（かい）せぬままに佇（たたず）めり
〇鵙猛る静寂を聞く兄の墓
秋思濃し南国土佐を後にして

ゆの

〇一昼夜経てば秋思は風になる
鵙猛るまだ死にゃあせん風の声
もう晩年はや晩年か酔芙蓉

丞子

柿色の色なき景色今年柿
出発の修学旅行台風過
〇三冊の妣のレシピやきのこ飯

瑞枝

〇在りし日の友に始まる秋思かな
〇チェロの音の溜息に似て秋思なほ
鵙高音朝一番のスクワット

郁子（土）

蒼天に吸ひ込まれゆく鵙高音（たかね）
〇曼珠沙華志士殉難の道すがら
〇竜胆の濃き紫は妣（はは）の色

酔花

電信のピンと張り詰め鵙一羽
秋日和左半身猫じゃらし
〇赤い靴小走りでくる朝の鳩

えり

〇傾きを月の加減と秋思せり
持てるのは永遠の今鵙の贄（にえ）
〇高知城忍者めきたる松手入れ

彼（か）の人と北斗七星見る夢や
銀漢を未（いま）だ見ずして古稀に入（い）る
秋雨に募（つの）る思いを鎮（しず）められ

郁子（岡）

〇村おこし集いて笑顔蕎麦の花
事故にあい収拾つかず秋思かな
肩並べ未来を語る星月夜

紀美

秋の風講座帰りの電車待ち
ピアノ弾くスカイブルーの鵙日和
〇秋思かな亡き母の句に母の声

迪子

忘れない貰った干柿（ほしがき）染み入って
〇秋日和何事もなくティータイム
秋思かな夫婦喧嘩もあと数年（すうねん）

綾子

〇秋霖や愛犬の鼓動（いま）未だ手に
針置きし丸き母の背の秋思
〇芋掘りの姉さん被り歯に衒え

哲也

〇二ノ丸のベンチに文庫鵙日和
〇俎板（まないた）を立てる秋思のタベかな
秋深し扇のごとの向付（むこうづけ）

恵

花柄のワンピース着て赤カンナ
頬杖のいびつな思い秋思かな
鵙の声疲れはててかわがままを



衰える聴力筋力秋思かな
祝賀会長生きしようと生身魂（いきみたま）
〇久々の子の背吾を越す金木犀

農子



頬杖しロダンの秋思ガザ遠し
百舌鳴けり真犯人は此処にいる
残菊や母への重湯手にのせて

山下　正雄　作品

★次回市民句会



【開催日時】
令和八年十一月二十五日（水）
午後一時十五分～午後四時（予定）
【場所】
オーテピア４階　研修室
【兼題（けんだい）】
①紅葉・黄葉
②立冬（冬立つ・冬に入る・初冬・冬来る・今朝の冬など）
（他の題材でも構いません）

【初めての方へ】
市民句会は、俳句愛好者の集いです。
どなたでも自由にご参加いただけます。
事前申込や参加費は不要です。